

FAX つうしん

普通 至急

宛先	[Redacted]	様	発信者	担当
送信	平成 [Redacted] 年 [Redacted] 月 [Redacted] 日		ミズホ通信株式会社 〒194-0022 東京都町田市森野4-7-21 ☎ 042 (723) 1049 FAX 042 (726) 6793	高田

MX-21₅ → MX-24₂ 改造パーツの発送

啓上

日頃より格別のお引立てを賜り厚く御礼申し上げます。

いつもお世話になっております。

改造の本日は、C₁ 一部を換 (交換して1枚使用
耐性能は虫持。) C103 33P → 22P L15, 16, 2巻 減5可
C14 47P → 100P
C1W 21P

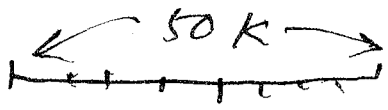
① RF4L ッカーをRFナ線子に交換し、送信回路の共振を
7-7.24MHzのバンド内に入るとして VX0 コイルに合わせ
ておきます。(コア以外7.24MHzのRX7"を2P-12も
おいたまま)

② TXコイルは、L₁ L₂ の各々を合わせて中波入りの巨響に
き、虫持で、目的はVX0に合せておきます。
もう一つの回路は ①の次に 共振回路 L₃ L₄ L₂ L₅
で共振回路を24MHzに上げて、再び送受信回路
も合わせます。

要は、1.5を24MHzのパーツが買つかれば、これを最大
に各部を合せておきます。

③ VX0の調整を、送信回路のコア、バリコン等により、TC
とミーン成に合せておきます。

乱文にて、判りにくいと思いますが、相気よく調整すれば
純正の MX-24s と同等の
お持ちです。



ABAND, 24,89 29,94

言周帯の中心

パワコ max

50,200

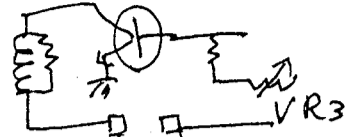
Lのコア

50,250

TC₁の調整

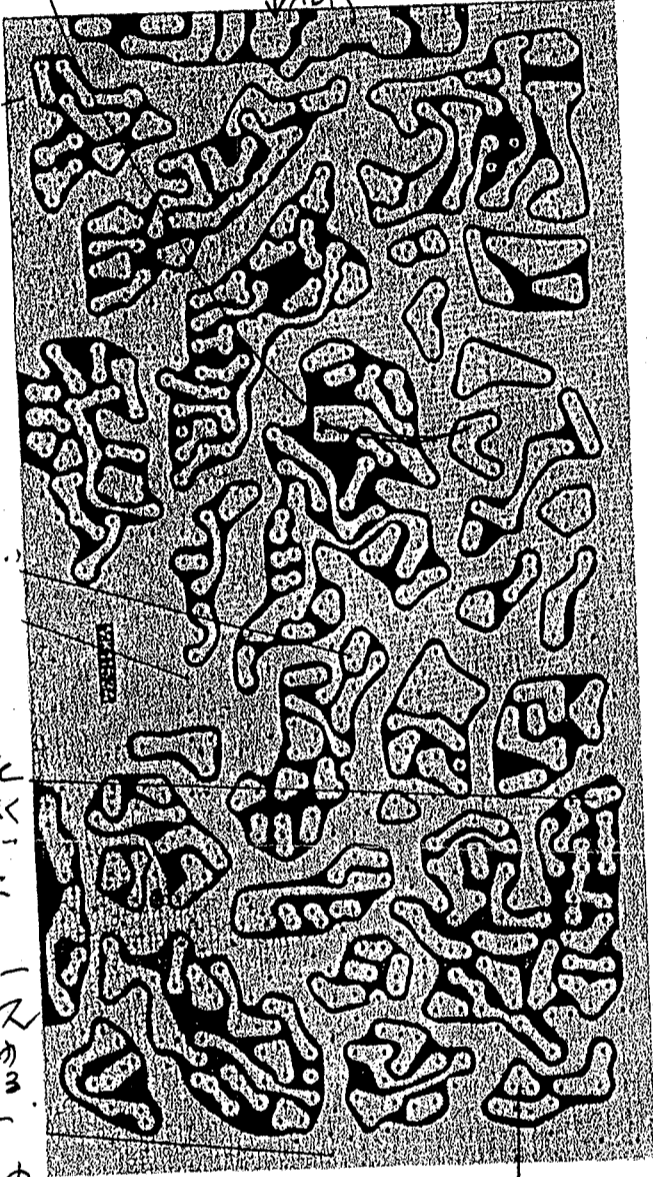
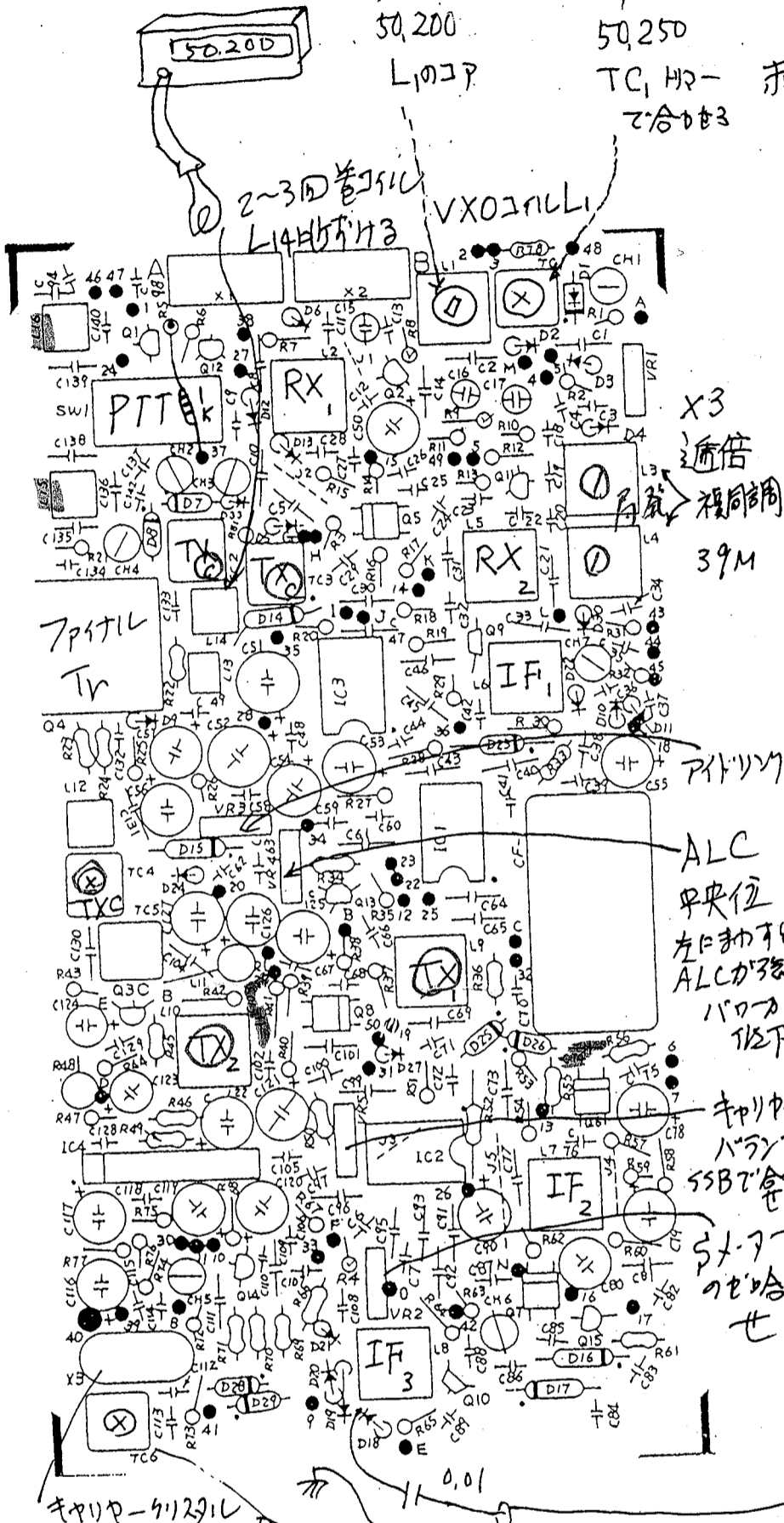
赤いジャンパー線をはき

RFアンプ



アトリング電流20mAに
VR3で合わせる

Lのコアを回す
とVX0を調整する
RFアンプの出力

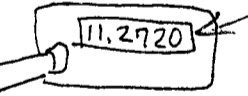


X3
透倍
視同調
39M

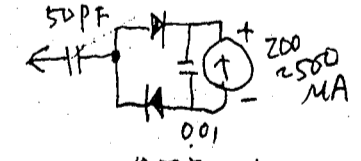
ALC
中央位
左に動かす
ALCが強くなる
パワコ
低下

キャリア
バランス
SSBで合
せ
5.7
のせ合わせ

MX-24付 11,2735



RFアンプ
振出し
調整OK



キャリア周波数(キャリアポイント) TC₆で11,2720

に合わせた受信性能を上げ、マイク出力に
カウンタで0.01を巻くことで
正確にキャリアポイント合わせが
できます。

アンテナ
RX: 各局から受信した電波をアンプで増幅し、透倍回路L₃ L₄のコアを動かして更に増
幅してRX₁ RX₂ IF₁~IF₃で変換増幅します。
TX: 出力が、RFアンプの出力特性を考慮してCWFに調整し、TX₁~TX₂
各TXCを合わせた最大出力に合わせます。VX0を正確に合わせれば各段を合わせます。

パーツ No	MX-6S	MX-7S	MX-21S	MX-35S	MX-18S
Q 3	2SC 2053	2SC 1959	2SC 1959	2SC 1959	2SC 1959
X 1	12.9922 MHz	9.1899 MHz	16.2670 MHz	14.8370 MHz	
X 3	11.2720 MHz	11.2720 MHz	11.2750 MHz	11.2720 MHz	11.2735 MHz
D 31	1S1588	1S1588	N C	1S1588	
D 33	ジャンパ	"	1S1588	"	1S1588
CH 2	100	330	330	331	33 μH
CH 3	"	"	"	"	33 μH
CH 4	"	"	"	"	33 μH
TC 2	トリマ	470 P	トリマ	470 P	CHC-64-070 (5T)
TC 3	"	440 P	"	680 P	"
TC 4	"	300 P	100 P	N C	✓ 22P CH
TC 5	"	330 P	220 P	560 P	✓ 82P CH
R 21	330 Ω	330 Ω	330 Ω	100 Ω	330 Ω
R 22	"	N C	N C	330 Ω	✓ 330 Ω
R 24	22 Ω	51 Ω	51 Ω	51 Ω	51 Ω
R 26	220 Ω	100 Ω	100 Ω	100 Ω	100 Ω
R 42	2.7 K	2.2 K	2.2 K	2.2 K	2.2 K
R 44	330 Ω	220 Ω	220 Ω	220 Ω	220 Ω
R 81	N C	1 K	1 K	1 K	1 K
R 83	"	N C	"	N C	?
R 84	ジャンパ	ジャンパ	ジャンパ	180 Ω	?
C 10	33 P	103	103	103	103
C 13	N C	10 P	N C	10 P	N C
C 14	100 P	100 P	47 P	100 P	✓ 100P SL
C 15	30 P	220 P	100 P	"	270P SL
C 16	47 P	56 P	56 P	82 P	82P CH
C 20	1 P	1 P	1 P	2 P	2P CH
C 21	47 P	56 P	56 P	82 P	82P CH
C 28	22 P	150 P	33 P	220 P	220P CH
C 32	100 P	100 P	100 P	330 P	100P SL
C 66	33 P	150 P	47 P	220 P	47P SL
C 94	47 P	300 P	120 P	560 P	120P SL
C 103	33 P	150 P	33 P	220 P	✓ 47P SL
C 112	12 P	12 P	22 P	12 P	22P CH
C 129	472	N C	472	N C	472
C 131	10 P	15 P	10 P	15 P	✓ 15P CH
C 133	47 P	N C	N C	N C	N C
C 135	39 P	220 P	82 P	330 P	✓ 82P CH
C 136	22 P	150 P	56 P	270 P	✓ 47P CH
C 138	39 P	220 P	100 P	470 P	✓ 120 (SL)
C 139	"	300 P	"	"	✓ 82P CH
C 140	4 P	33 P	12 P	56 P	✓ 10P CH
C 142	N C	22 P	N C	100 P	N C
C 143	"	0.5 P	1 P	0.5 P	✓ 0.5P CH
C 144	"	N C	39 P	N C	✓ 47P CH
⑨	⑩に接続	⑩に接続	⑩に接続	⑩に接続	

● ピコトラ S 使用上の御注意

(1) 後面パネルのFUNCTION スライドスイッチは、通常運用では必ずBATT にして下さい。

内蔵電池及び外部電源のどちらで運用する場合もBATT にセッドします。

(2) ニッカド電池を充電する時は、上記のスライドスイッチをCHARGE に切り換えます。

使用するニッカド電池は必ずNR-AA型 (相当品) 450mAh 容量で、充電時間が45mA で14~16時間仕様の物を使って下さい。これ以外の充電方法のニッカド電池は、本機内蔵の充電回路が使いません。

(3) 大型のマンガン乾電池を外部電源ジャックから接続したい時は、内部の逆接保護用ダイオードでの電圧降下分を考慮して、合計7本(10.5V) を供給した方がFBです。